

令和7年度 第1回愛媛県介護予防市町支援検討会 会議結果概要

1 会議の名称

愛媛県介護予防市町支援検討会

2 開催日時

令和7年7月1日(火) 15:00～16:30

3 開催場所

愛媛県総合社会福祉会館 4階 視聴覚室

4 出席者

介護予防市町支援検討会構成員 10名(集合10名)

事務局5名(長寿介護課長、主幹ほか)

関係課1名(健康増進課主幹) 合計 16名

5 内容

(1) 開会

(2) 開会あいさつ(会長)

(3) 議事

① 令和7年度の愛媛県介護予防市町支援検討会の活動について

② その他

(4) 閉会

6 審議の内容(全部公開・傍聴者0名)

(1) 令和7年度の愛媛県介護予防市町支援検討会の活動について

ア 事務局からの説明

資料1:最近の国の動向・愛媛県の現状について

資料2:令和7年度愛媛県介護予防市町支援検討会の活動について(案)

【モデル市町支援について】

- ・ 1市(新規)に対する支援を実施。支援内容は、地域ケア個別会議の充実支援・関係者への研修会支援を計4回程度実施予定。

【介護予防従事者研修会について】

- ・ 地方局分は、要請があれば企画・参加等、構成員による支援をお願いしたい。
- ・ 本庁実施分は、「きこえ」を踏まえたフレイル予防に関する内容等をテーマとして考えている。

イ 構成員からの主な意見等

- 通いの場の参加者実人数について、ここ数年全体的に減少傾向だったがその理由はどのようなものか。人口全体が減っているということか。住民のモチベーションが影響しているのだろうか。
- 地方局単位の研修会では、研修内でグループワークを実施することによって日頃の問題の解決策が見つかったように思う。地区ごとで何かを解決するネットワークづくりを行い、年度末等にまとめて報告できるような場があると、日々の問題点を解決しやすいと考える。
- ビッグデータの活用がなされてきて、地域の小さな部分もピンポイントで押さえられる時代が来ると思う。小さなレベルでそれぞれの地域特性に合わせた提案ができる必要がある。
- ビッグデータは、地域全体の特徴や健康課題を把握すると同時に、小地域の特徴や対象者一人一人を丁寧に見る地域診断や地区診断にも活かしていくことができれば良いと思う。
- 産業医として活動する中で、管理者から要医療の方に対しては病院受診するようにアプローチをいただいているが、長く要医療の状態が続いている人も散見される。企業側に対して、健康診断の改善率が悪いと罰則があるような形にする方法もある。行政が健康診断に積極的に介入することも必要かもしれない。
- 研修会については、ためになる話を聞くというだけでとどまると、毎年講話を聞くのみで後の支援に繋がらない。何年かの計画で実施することも必要。今回取り組む内容についても、どのような形でこの研修が将来に向かって生かしていけるかということも、専門的な立場から意見をいただきながら研修が始められると良い。生の声を大切にして、対象者に合わせた動きをしてほしい。
- 松山市の健診受診率は国と比べて低い。有所見でも未受診の割合が非常に高い。これは松山市の課題でもあるが、愛媛県の課題でもある。健診の結果が悪かったにもかかわらず、次の行動に繋がっていない。保健指導は時間がかかる。行動変容を促すことは難しい。
- 行動変容については暮らしの特性などを保健指導の変容過程にあてはめながら、対象者の自身でやろうという意思やこうなったらこうしたいという判断などに対して支援できると良い。
- 歩行がやや困難だったのに、次第に歩けるようになって自信がつき買い物に行く姿が増えたケースがあった。そのような小さなことから行動変容していくと思う。
- 結果が見えると行動変容に繋がりがやすい。スモールステップを踏むことで自己達成感を獲得できると考える。特に高齢者の方は社会貢献など誰かのために頑張ることができると思えば意欲や行動変容に繋がっていく。栄養やコミュニケーションなど様々な側面が重なることで運動能力は上がっていくと思う。
- 103歳の方に誕生日会をしたことがある。その時、85歳や90歳の方に「あなたたち若いわね」と話されていたことが印象に残っている。高齢者のイメージを変える必要があると考える。

ウ 構成員協議の結果

【2つの活動内容について】

○モデル市町の効果的効率的な介護予防の取り組みへの支援に関する活動と介護予防従事者研修の企画など介護予防啓発に関する活動について、それぞれの構成員の専門性を踏まえ必要に応じて柔軟に対応する。

【モデル市町支援について】

○希望のあった1市について支援を実施する。【継続】新居浜市

○介護予防のための地域ケア個別会議の充実及び関係者向け研修への支援等を実施する。

○担当構成員と事務局双方でモデル市町に出向き、依頼内容及び事業の進捗状況等、市町の支援方針に沿って検討しながら実施する。

【介護予防従事者研修会について】

○構成員等と協議しながら今後具体化していく。

(2) その他

【オブザーバー(健康増進課)の意見等】

○愛媛県健康アプリ「kencom」を19歳以上の全県民に向けて運用している。登録すると、生活習慣病予測シミュレーションやデジタルマップ上に掲載している各市町のウォーキングコースを見ること等ができる。また、歩数や健康診断の受診等に対してポイントを付与し、貯まったポイントでギフト抽選に参加できる仕組みもある。今年度からは、各市町が地域の実情に応じて、独自でポイント付与できるようになった。また、利用者に向けて毎月17日の減塩の日に合わせて「減塩メニュー」を配信している。

○歯科保健事業については昨年度「オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント」が発表されたことを受け、オーラルフレイルのリーフレットを更新した。県のホームページにも掲載している。また、令和3年度から愛媛県歯科衛生士会と連携して、県内事業所へ歯科衛生士を派遣し、事業所の要望に応じて従業員の口腔のケアを支援する取組も行っている。

〔検討会事務局〕

保健福祉部生きがい推進局
長寿介護課介護予防係(2431)
電話 089-912-2431
FAX 089-935-8075